

次年度理事長決定!

創立55周年を機に発表させて頂きました中期活動計画「Action Plan from 2012 revised」のもと、新たな枠組みの中で、日本全国をリードする「ひとづくりの先進地」の目標実現に向けて運動を展開し、ふくい「より明るく、より豊かな社会」になるよう2018年度も青年らしく元気に邁進してまいります。そのために、メンバー一人ひとりが輝ける組織となり、自らが動き、ふくいの魁としてメンバー丸となり活動する一年とします。

2018年、皆さまにはメンバーに対する今まで以上のご指導ご鞭撻と、福井JCの活動に対しますご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。ぜひ福井青年会議所の活動にご期待ください。

2018年度
理事長予定者

加藤 有司



新入会員 紹介

2017年度
下期



いたさか ゆうや
板坂 祐也
株式会社 Up the Mark
1985/02/26



いよ りょう
伊与 涼
株式会社 GFK
1989/03/26



かえりやま たけし
歸山 豪
株式会社 ぼんた
1981/06/11



かすが たくと
春日 拓人
名入れ彫刻専門店 ホルザフクイ
1985/10/20



かわむら ゆうぞう
河村 雄三
みなと運輸代行
1982/03/12



さかい はるき
坂井 春貴
株式会社 HIT
1980/04/02



たかま ゆき
高間 侑希
美容カイトのお店 Lt trust
1986/03/30



なかあらえ ごう
中荒江 剛
親和商事 株式会社
1988/07/05



にし こうへい
西 耕平
有限会社 カネニシ金物
1981/04/03



みやぎ やすあき
宮城 康臣
宗教法人 和田八幡宮
1985/03/24



やまぐち たかすみ
山口 高澄
株式会社 グランディア芳泉
1987/11/13

2018年度 会員募集

ふくいのまちのため、
子どもたちのために
一緒に活動しませんか?

まちと子どもたちの未来のために一緒に
歩いて頂ける20歳から39歳までの
男女を募集しています。

☎ 0776-33-1750

✉ admin@fukuijc.or.jp

誠心誠意
ご説明させて頂きます!

会員拡大委員会
委員長 吉川 知宏

福井青年会議所の活動を詳しく公開中!



公式ホームページでは、福井青年会議所で
取り組んでいる活動の様子や事業予定など
を随時掲載しております。ぜひ一度、ご覧
ください。また、フェイスブックではリアルタイム
で情報発信を行っています。フェイスブック
をお使いの方は、ぜひとも「いいね!」をよろ
しくお願いいたします。

HPIは

福井青年会議所



Find us on
Facebook

福井JC Facebook



JCI Junior Chamber International Fukui

公益社団法人 福井青年会議所

〒918-8004 福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル3階

TEL.0776-33-1750 FAX.0776-33-1752

●URL <http://www.fukuijc.or.jp> ●E-mail admin@fukuijc.or.jp

●公式FB <https://www.facebook.com/fukuijc>

〈発行〉(公社)福井青年会議所

〈編集〉総務委員会 委員長:松浦 真樹 副委員長:佐々木 健夫、小森 雄介 委員:伊藤 幸平、井上 俊秀、加藤 千八、田中 裕也、南部 正綱、林 美里、原田 大輔、水切 弘典

啓発

JCI

公益社団法人
福井青年会議所

2017
vol. 02

創立55周年
記念式典・祝賀会
2017年9月3日

創立55周年 記念式典・祝賀会



第36回 全国城下町シンポジウム 福井大会
2017年5月26日~28日





NATIONAL CASTLE TOWN SYMPOSIUM 36TH

次代へ紡ごう 城下町のLEGACY 振氣一点

第36回全国城下町シンポジウム福井大会を終えて

本大会では、城郭という歴史的シンボルのない福井において全国城下町シンポジウムを主管するにあたり、今も福井に残る福井の精神性、歴史資源や文化資源といったLEGACYに着目して大会を構築し、発信させて頂きました。

今後も、本大会の効果を一過性のものとしないう、福井のLEGACYを後世に継承し、住み暮らす人の郷土への誇りを醸成すべく、氣を振るって邁進し続けますので引き続きのご指導をお願いいたします。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、ご支援・ご尽力を頂いた全ての皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。



第36回全国城下町シンポジウム
福井大会 実行委員長
岩本 雄太



大交流会「ふくい育都祭2017」

第36回全国城下町シンポジウム福井大会の大交流会として、「ふくい育都祭2017」を福井市中央公園にて開催しました。今回の育都祭は、福井城址を感じながら、ステージイベントや子供向けのワークショップを実施しました。さらには、県内外の青年会議所によるご当地の特産品販売や飲食ブースの出店もあり、多くの市民の方々、そして多くの全国各地の青年会議所メンバーにご来場頂きました。

オープニングフォーラム

語り継ぐべき歴史がある 日本をリードした福井が誇る偉人たち

基調講演では、北康利氏をお迎えし、ふくいが生んだ幕末の偉人に関してご講演頂きました。

松平春嶽・由利公正・橋本左内をメインに話して頂き、城下町ならではのふくいの魅力を発信し歴史認識の拡大や地域づくりの可能性を導き出しました。



〔振の編〕

熱き幕末志士の原点 橋本左内から学ぶ生き方

歴史家の河合敦氏にご講演を頂き、その後、河合敦氏に加え、「幕末・維新人物伝 橋本左内(コミック版日本の歴史)」の原作者である東山成江氏、福井県護国神社欄宜の宮川貴文氏をパネリストとしてパネルディスカッションを行いました。橋本左内の活躍や現代にも通じるその高い志をそれぞれの立場から伝えて頂きました。



〔氣の編〕

幕末の四賢侯 松平春嶽から学ぶリーダーシップ ～現代に通じる人の育て方とは～

福井市立郷土歴史博物館長の角鹿尚計様にご講演頂きました。松平春嶽公は、藩主として行動力や決断力に秀でていただけでなく、人を認め、身分を問わない人材登用をすることで数々の偉人を育て、その思想や具体的手法は、まさに現代に続くふくいの精神であることを学び、今我々に必要な考えや実践すべき事を考えて頂きました。



〔一の編〕

戦国時代へタイムスリップ! “目に見えない価値”の利活用 ～国の三重指定「朝倉氏遺跡」を素材に～

目に見えない価値をどのように利活用し、どのように情報発信するか、というテーマについて、朝倉氏遺跡のケースを紹介させて頂きました。まずは朝倉氏遺跡を見学頂くことで利活用の状況を知って頂き、その後、情報発信に関する一乗谷ディスカバリープロジェクトについての講演を行いました。



〔点の編〕

龍馬と福井藩が目指した新国家構想と 由利公正の発想力に学ぶまち歩き

福井あすわ歴史道場の松下敬一氏にご案内頂きました。坂本龍馬と由利公正の関係から、福井藩がどのように幕末と関わりがあったのか、新国家構想の根幹をつくった福井藩とはどのような藩だったのかを学び、繰船体験では、由利の発想力が街を変えたという話から、現代に通じるものがあるということを感じて頂きました。



メインフォーラム

藩校教育から学ぶ ～人づくり先進地ふくい～

基調講演では、金谷俊一郎氏をお迎えし藩校教育についてわかりやすくご講演頂きました。福井には全国でも優れた明道館があり、優れた偉人たちを輩出したことを紹介して頂く事で、これからの人づくり、地方創生の鍵として藩校精神、福井の精神性を広く理解して頂きました。

創立55周年事業開催！ Appreciation ～時代を紡ぎ、次代を先駆けろ！～

実行委員長御礼

公益社団法人福井青年会議所 創立55周年記念式典・祝賀会を、日本におけるJC運動が始まった日である9月3日(日)に無事執り行うことができました。県内外より300名を超える来賓の皆さまにお越し頂き、これまで活動を支えて頂いたことに対する感謝ならびに、これからの活動に対する現役メンバーの決意、そして地域における福井JCの真価をお伝えさせて頂きました。お忙しい中、当日ご参加頂きました皆さまには、厚くお礼申し上げます。

私たち福井JCメンバーは、今まで以上に「明るく豊かなふくい」を実現するべく活動してまいります。皆さま方の益々のご指導ご鞭撻のほど、何卒お願い申し上げます。



創立55周年実行委員会
実行委員長
加藤 有司

9月3日(日)、創立55周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。すべての設えにおいて、スローガンにあるAppreciation(感謝)が伝わるよう創意を加えました。スポンサーJCや姉妹JCへの記念品、参加者皆様にお配りした参加記念品、アトラクションや料理など、どれも多くの試行錯誤がありました。前日も深夜まで、さらには当日の直前まで修正を加えながら、メンバーが一丸となって臨みました。



杭州市青年聯合会との 交流促進協定書締結

8月7日、浙江省杭州市を訪問し、杭州市青年聯合会と交流促進に関する協定書を調印いたしました。協定書において、今後、両団体において福井市及び杭州市、それぞれの青年友好交流の担当部門として、平等互惠、誠実友好の原則に基づき、実質的な交流と協力をを行い、両市青年友好交流を促進し、より強固な信頼関係を構築することで合意に至りました。

福井県日中友好協会の皆様を始め、多くの中国とご縁を持つ方から多大なご支援、ご協力を頂きましたことを、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



ちからプログラム 次世代の子どもたちを育成する 「新ちからプログラム」を作成

小学生向けにちからプログラムを実施し5年たちました。5年目という節目を迎えた本年は、これまでの検証結果を踏まえ、様々な角度からちからプログラムを検証し、新たに2つのちからプログラム「思いやる力プログラム」「みつける力プログラム」を策定しました。

また、グローバル化や人口減、予測できない社会の変化に主体性に且つ創造性をもって向き合うことができる人材を育成する為、新プログラムを作成しました。今後もちからプログラムを通して、社会に出た時に必要な力、今の時代の子供達に必要な力、さらには、明るい豊かなまちを実現すべく創造性がありリーダーシップを持った人材を育成していきます。



2017年度 各事業紹介

第33回 わんぱく相撲 福井大会

福井市相撲連盟、福井市子ども会育成連合会、福井青年会議所が連携して開催し、今年で33回目になります。相撲を通じて、礼節や相手への思いやり、感謝する心を育んでもらいました。そして、福井大会の個人戦で優勝した4年生、5年生、6年生の児童3名に、7月30日(日)に開催された全国大会に出場頂きました。福井チームの成績としては、5年生代表の仲野奏人君が小結(準々決勝進出)となり、大いに盛り上がりました。今後も地域が連携して開催し、地域全体で子どもを育てる風土をつくっていきます。



7月公開例会

「子供へのコーチング ～自分で考え自分でできる育て方～」

親教育プロセス代表三國真弓氏の講演会では、大人が持つセルフイメージが子供の持つセルフイメージを変える事、子供の感情を認めて練習させることが自分で考え行動することにつながるということを学びました。公益社団法人日本青年会議所の今日からやれる「親道」プログラムでは、大人が自ら磨きをかけ徳を積むということの大切さ、子供の自立の為に「母性的慈愛」と「父性的慈愛」が必要であることなどを学びました。



翔け未来のふくい人！～郷土の誇りを胸に～

翔け未来のふくい人！～郷土の誇りを胸に～ 映画「ヒーローになれなかったヒーロー」作文コンクール

幕末期の福井初の海外留学生である日下部太郎と、その友人であるW. E. グリフィスの歩みを知ってもらい、その上で子供たちに将来の福井への貢献や国際的な視野について、考えてもらうため、福井市内の小学6年生を対象にした作文コンクールを行いました。日下部・グリフィス賞を受賞された2名の方には、日下部太郎の留学先であったアメリカ ニュー・ブランズウィック市への顕彰旅行が贈られました。





Action Plan from 2012 revised 発表!!

2017年9月3日に開催した公益社団法人福井青年会議所創立55周年式典にてAction Plan from 2012 revisedを発表いたしました。これは、創立50周年を迎えた2012年に福井JCの持つビジョンを実施するための基本方針、そして中期的な活動計画として策定したAction Plan from 2012を改定し、2018年から2022年までの5年間に福井JCが取り組む新たな運動の目標及び運動の方針となります。

Action Plan from 2012 revisedをもとに、私たちが描く「ひとがまちを創り、まちがひとを育む」という好循環が絶えることなく続く「ひとづくりの先進地」を実現にむけ邁進してまいります。

ひとがまちを創り、まちがひとを育む 好循環が絶えることなく続くまちを目指して

私たちが描くひとづくりの先進地とは、「ひとがまちを創り、まちがひとを育む」という好循環が絶えることなく続き、明るい豊かな社会へとスパイラルアップしていくまちです。

具体的には、まず、ふくいに対する誇りと自信を持つ人が増えることから始まります。次に、そのような人々の中から、地域の課題を発見し解決する創造力を持ち、自ら率先して行動を起こすリーダー達が登場します。そして、リーダー達が、それぞれ、周囲を巻き込みながらまちを良くするために運動を起こし、その運動が様々なものとなつたり共鳴しあいながら広がることによって大きなうねりとなり、より多くの人々の意識が変革され、ふくいが幸福と希望に溢れるまちになります。そして、幸福と希望に溢れるふくいは、ふくいに対する誇りと自信を持つ人を育てていきます。



福井JCが描く「ひとづくりの先進地」ふくいの姿

ひとづくりの先進地を実現するための運動方針

私たちは、私たちの運動が契機となり、ふくいをこのような「ひとづくりの先進地」とするべく、2018年からの5年間、「for PRIDE」及び「for LEADER」という2つの運動と「for CHALLENGE」という組織運営の改善に取り組みます。

for PRIDE

ふくいへの誇りと愛着
自信を持つことで、
幸福と希望に溢れるまちに
するための運動

for FUKUI

for LEADER

ふくいを愛する人が創造力と行動力を磨き
積極的にまちを良くする運動

for CHALLENGE

「for PRIDE」「for LEADER」の2つの運動を力強く推進し、
チャレンジを続けるためのJCの組織改善

for PRIDE

ふくいに住み暮らす人々に、ふくいへの更なる誇りと愛着・自信を持ってもらう、また、地域資源を掘り起こし、あるいは作り出して、ふくいを幸福と希望に溢れるまちにすることを目指す運動です。

●この運動に基づき実施する事業(創立55周年記念事業)

この運動方針の下、中国杭州市青年聯合会との交流促進を実施します。中国杭州市青年聯合会との間で連携し、よりグローバルな視点でのまちづくりを模索します。

また、中国杭州市だけでなく、姉妹都市友好都市を含めた他の国や地域の文化とふくいを比較しながら切磋琢磨することにより、県外からだけでなく海外からの来訪者にも感動を与えるまちづくりに取り組みます。

for LEADER

ふくいを愛する人や当事者意識を持った人々が、創造力と行動力を磨き、自らが積極的にまちを良くする運動を起こすこと、そしてその運動が様々な人や資源などと共鳴しながらつながり広がって、福井を変える大きなうねりになることを目指す運動です。

●この運動に基づき実施する事業(創立55周年記念事業)

この運動方針の下、これまで実施してきた「ちからプログラム」に、新たに「思いやる力プログラム」「みつめる力プログラム」を追加して拡充し、より大きな創造力と行動力を備えたリーダーの育成を目指します。

for CHALLENGE

社会により良い変化を起こすため、JC活動を通じてメンバーを成長させ、地域のトップリーダーを輩出するため、私たち福井JCは、絶えず果敢にチャレンジをし続ける組織であることを目指します。

具体的には、①私たちの基本的価値観を見つめ直し、JCらしさや福井JCらしさを追求する、②メンバー一人ひとりが個性を出し合い、互いに補い合うことにより、メンバー一人ひとりの個性を組織の力に結びつける、③同じ志を持ち共に活動するメンバーを増やし、2023年当初に150名以上のメンバーが在籍する、④組織の運営、毎月の例会や事業などのあらゆる機会を活かし、同じ志を持ち共に活動するメンバーの成長に投資することに取り組みます。